

●日本文化の側面を支えた人物たち●

出版文化人物事典

—江戸から近現代・出版人1600人



9784816924170

稲岡 勝 監修

A5・550頁 定価(本体14,200円+税) ISBN978-4-8169-2417-0 2013年6月刊行

江戸時代の版元から現代の出版・編集・取次・小売まで幅広く収録

●江戸時代から2013年までに没した日本の出版人を一覧できる人物事典です。“紙の文化”に貢献した起業家・編集者を中心に様々な分野の1,638人を収録しました。

調査が難しい人物も多数掲載

- 各人物には生没年月日、出身地、肩書、学歴、経歴、業績などを記載、書き手に比べ注目を集めることが少ない出版界の人物をこの一冊で調べることができます。
- 「出版社・団体名索引」「人名索引」付き。

●収録人物例●

青木恒三郎(青木嵩山堂)、有本芳水(実業之日本社)、今井政兵衛(稲元屋寸金堂)、岩波茂雄(岩波書店)、浦城光郷(さ・え・ら書房)、江副浩正(リクルート)、扇谷正造(朝日新聞社)、大迫忍(ゼンリン)、大野屋惣八(貸本屋大惣)、加島虎吉(至誠堂)、壁村耐三(秋田書店)、上森子鉄(キネマ旬報社)、菊竹嘉市(金文堂)、久保井理津男(創文社)、白井赫太郎(精興社)、鈴木徹造(出版ニュース社)、高木貞衛(万年社)、高森栄次(博文館)、武内俊三(雄鶏社)、竹森清(中央公論社)、司忠(丸善)、蔦屋重三郎(書肆)、津曲篤子(弥生書房)、中野幹隆(哲学書房)、中平千三郎(東京大学出版会)、中村信以(富貴堂)、野口兵蔵(春秋社)、芳賀章(芳賀書店)、羽田武嗣郎(羽田書店)、八文字屋自笑(書肆)、久富達夫(日本出版会)、藤岡屋由蔵(お記録本屋)、牧恒夫(牧製本印刷)、政田岑生(書肆季節社)、松原治(紀伊國屋書店)、美作太郎(日本評論社)、村上濁浪(成功雑誌社)、山本夏彦(工作社) ……etc.

池島信平 いけじま・しんぺい
「文藝春秋」編集長 文藝春秋社社長

内容見本

〔生年月日〕明治42年(1909年)12月22日
〔没年月日〕昭和48年(1973年)2月13日
〔出生地〕東京市本郷区春木町(東京都文京区)
〔学歴〕東京府立五中〔昭和2年〕4年修了、新潟高文科甲類〔昭和5年〕卒、東京帝国大学文学部西洋史学科〔昭和8年〕卒
〔経歴〕東京・本郷の牛乳屋・北星舎の二男。昭和8年文藝春秋社の第1回公募入社試験を受けて合格(合格者6名)。菊池寛の薫陶を受け、菊池の代筆で「日本合戦譚」「日本武将譚」などを執筆した。15年「話」改め「現地報告」編集主任。18年満州文藝春秋社設立のために渡満、同社編集部長。19年帰国して「文藝春秋」編集長に就任したが、20年5月応召して海軍の一兵卒となり、8月北海道千歳で敗戦

巻別巻1)の共同編集者。NHKラジオ「文壇よもやま話」「歴史よもやま話」の司会者としても手腕をみせた。
〔家族等〕弟=池島興治(日本図書普及専務)
〔受賞〕放送文化賞(第19回,昭和42年度)〔昭和43年〕
【参考】『文藝春秋編集長菊池寛の心を生きた池島信平』塩澤実信著 展望社2005 / 『池島信平文集』池島信平著 文藝春秋1973

監修者プロフィール 稲岡 勝 いなおか・まさる

昭和18年中国・上海生まれ。47年東京都立日比谷図書館勤務を経て、平成11~20年都留文科大学教授。明治の出版史を専門とする。共編に『日本出版関係書目—1868—1996』(布川角左衛門監修、平成15年)、編・解題に『明治十年代の新刊情報誌—「出版新報」と「出版月報」と』(平成23年)などがある。

2016.12

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845
〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <http://www.nichigai.co.jp/>

■書店名	注文書	出版文化人物事典 —江戸から近現代・出版人1600人 定価(本体14,200円+税) ISBN978-4-8169-2417-0	冊
		■お名前	